

第52歩

ボンコラージュ（がんばれ）、ナオ！！

7月26日（金）に開幕したパリ2024オリンピック競技大会のレスリング日本代表に、本市出身の日下尚（くさかなお）選手が選出され、出場します。オリンピックでのレスリング日本代表選手に選ばれたのは香川県出身者では初の快挙です。

今回日下選手が出場するのは、グレコローマンスタイルの77キロ級。「グレコローマン」とは、フランス語で「ギリシャとローマの」と言う意味だそうです。変わった名前ですが、紀元前イタリア半島中部（今のローマあたり）にあった都市国家を形成していたエトルリア人の遺産とギリシャ式レスリングを元に復元され進化したのが原型で、アマチュアレスリングでは最も古い歴史のあるスタイルだそうです。フリースタイルと何が違うかというと、腰から下は攻撃してはいけないということ。全身の筋力がものをいいそうですね。

そんな日下選手を激励しようと、去る6月25日（火）には、この4月に開設した高松市東京事務所のあまる丸の内のビルのイベントスペースで応援イベントが開催され、私からビデオレターで、「Bon Courage、NAO」（がんばれ、ナオ）とエールを送りました。日下選手は、6月9日（日）にハンガリーで行われたランキング大会でも優勝し、このクラスで日本人初の世界ランキング・ポイント1位となるなど、本番を前に、オリンピックでのメダル獲得に向けて弾みをつけています。3年前の東京2020オリンピック競技大会では、本市出身でフェンシング・エペ団体に出場した宇山賢（さとる）選手が見事金メダルを獲得しました。日下選手もそれに続いて、高松市出身選手の連続金メダルも夢ではありません。

また、今回のパリ2024オリンピック競技大会には、日下選手に加えて、三木町出身でバスケットボール日本代表の渡邊雄太選手や坂出市出身で競泳200m平泳ぎの花車優選手も出場しています。現下の国際情勢は混沌（こんとん）として非常に不安定ではありますが、せめて、オリンピックというスポーツの祭典の最中は、嫌なことは忘れて、地元選手はもちろんのこと、日本代表選手を応援し、その活躍に何回も何回も快哉（かいさい）を叫びたいものです。

